

差出人：[REDACTED]
宛先：<ark@arkbark.net>
送信日時：2005年 5月 31日 火曜日 13:15
件名：半身不随のオス犬を保護していただけますか。

はじめまして

[REDACTED]市に住む[REDACTED]と

申します。

突然のお便りをお許しください。

ARKのHPの活動内容を見て、お便りさせていただいています。

現在、半身不随のオス犬を保護しております。

我が家では事情があり、飼うことができません。

今は動物病院のスタッフの方に無理を言ってお願いして

預かっていただいております。

この1ヶ月あらゆるところにネットで里親募集をお願いしております。

地域の新聞は張り紙など、出来ることはしましたが、まだ

里親は見つかっておりません。

幸いにも一時預かりの申し出をいただきました。本当に本当に

嬉しいお申し出でしたが、あまり長期には飼えないので、

たぶん期限付きになりそうです。

半身不随のワンちゃんの介護はとても大変です。

こんな大変なことを喜んでやっていただけるかたは、なかなか

いないとわかっております。大変なことを人に頼むという

身勝手なこともわかっております。

でも一時預かりの申し出を短期であれば、

と申し出てくださったように、もしかしたら、終生かわいがって

くださるかたがいるかもしれない、と毎日がんばっておりますが、

むずかしい現状です。

先月末4月26日、千葉県印旛沼の林道で、大雨の中、犬を保護いたしました。

警察署、保健所、千葉動物保護センター全てに連絡はしましたが

飼い主からは連絡はありません。

私は小さい頃犬に咬まれて以来、犬が苦手です。でも大好きなのです。

すごく迷いに迷い、最初は見ぬふりをしようと車で通り過ぎたのですが、

どしゃぶり雨で、黒いつぶらな瞳だけが通り過ぎる車をおっていました。

誰かにすぎるような目でした。動けないの？あのワンコ？と

頭からあの目がはなれられず、結局引き返して保護してしまいました。

弱っていたので、すぐ病院へ連れていったら、

背骨がぼきっとまっぶたつに折れておりました。

病院の先生から、「たとえ生きても下半身は動かないかも

しれない、こんなひどい骨の折れ方を見たことがない」

とおっしゃっていました。

内臓はみんなきれいだったので、虐待ではないかとおっしゃっていました。

首のまわりには毛がなくて大きくはげています。

以前の飼い主にどのように飼われていたのかと、劣悪な環境を想像してしまいま

す。

このままほっとけばすぐ死んでしまうと、

先生は3つの選択肢を私に与えました。

写 頁 待 ち

(日)飼い主が見つかる希望

(月)保護をして面倒をみる

(火)天国へ行かせる

ワンコのけなげな目を見ると、どうしても(火)の選択ができず、